

CASBEE®広島

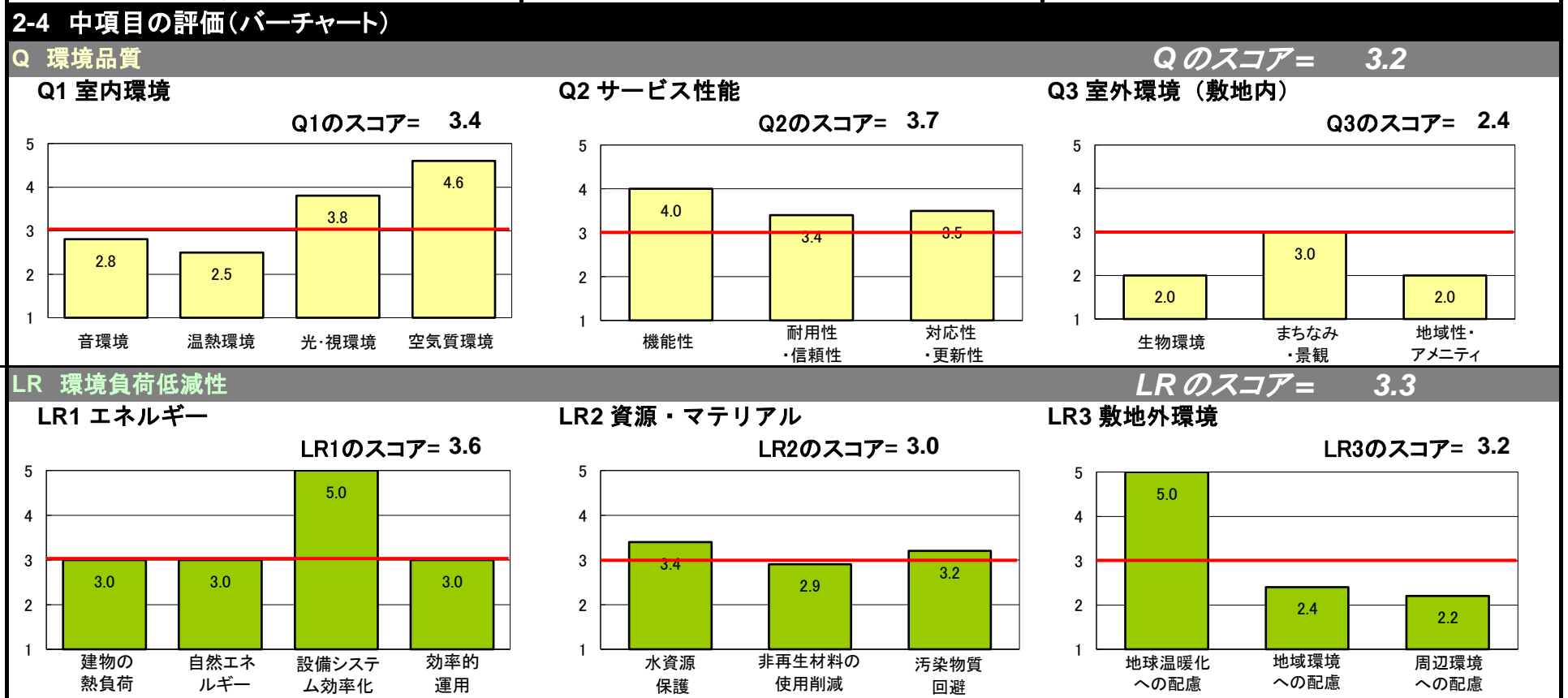
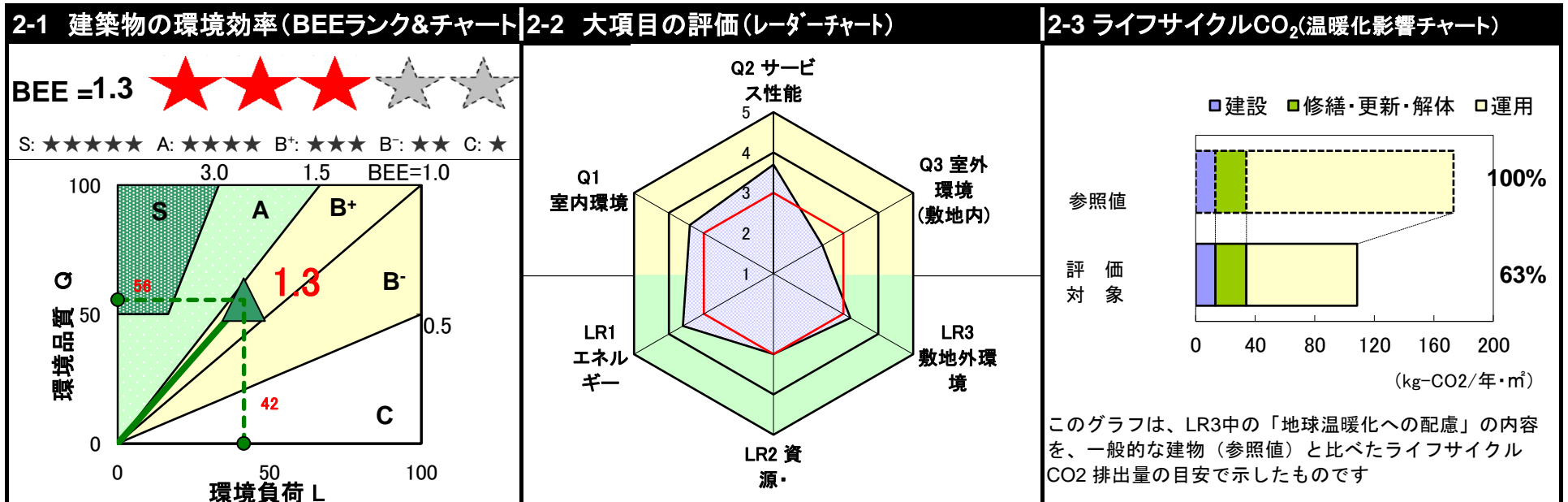
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高陽ニュータウン病院	階数	地上5F
建設地	広島市安佐北区亀崎4丁目190 外8	構造	RC造
用途地域	第一種中高層専用地域	平均居住人員	297 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年4月 予定	評価の実施日	2012年12月22日
敷地面積	6,800 m ²	作成者	大旗連合建築設計(株)代表取締役
建築面積	1,503 m ²	確認日	
延床面積	6,362 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.3	スコア = 3.6
設計の計画上特段に配慮した事項 必要部位に断熱材、複層ガラスの採用 / ロスナイの採用 / 適切なゾーン管理システム / 冷暖フリーシステムの採用 / 節水機器の採用 / 既設建物の活用	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内の緑化植栽、既設植栽の活用 / 動線分離	設計の計画上特段に配慮した事項 構造躯体に重要度係数1.25の採用。外壁をタイル貼りとし耐久性を向上。 / 適切に配置した機械室とスペース。ダクトスペースの確保。点検扉の設置。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される